

PRESS RELEASE

2020年6月3日

正智深谷高校、高校生全員がオンライン授業で学習

生徒全員が自宅からタブレットで映像配信の授業で学習。ホームルームは Zoom でクラスの絆を強める

正智深谷高校

学校法人智香寺学園正智深谷高校（本部：埼玉県深谷市、校長：加藤慎也、<https://shochi.jp/>）は、新型コロナウイルス感染防止策として、オンラインによる遠隔授業を4月20日より開始して、全生徒が自宅にて学習に取り組んでいます。

本学の全校生（3学年、計33クラス、計1,145名）は、自宅からタブレット端末を使って映像配信授業により毎日学習を進めています。また毎朝のホームルームではビデオ会議システム「Zoom」を使用して、担任の先生からの連絡事項などに加えて、クラスの全生徒が参加してお互いの顔が見える環境でコミュニケーションすることにより、オンラインでクラスの絆を深めています。

正智深谷では、3年前よりICT教育に力を入れており、高校生全員にiPadが配布されています。そこで遠隔授業の導入環境が整っていたので、新年度の開始後の早期から映像配信による授業を開始しました。新型コロナの影響で生徒が登校できない中、少しでも授業が遅れないように、クラス毎に用意された授業映像を時間割りに合わせて、生徒が独自に学習します。

遠隔授業は、1コマ50分（特進コースは80分）で、先生の説明を映像で見た後に、後半に用意された課題を生徒が解いて提出します。遠隔授業のツールには、スライドや動画が作成できる教育向けiPadアプリ「ロイロノート」（株式会社Loilo製）とオンライン会議システムとして普及しているZoomを採用しています。



<写真：オンライン授業で講義をする先生（上段）、自宅で学習する生徒（下段）>

正智深谷では遠隔授業を約2ヶ月間実施してきましたが、良好に実施されていて先生からもまた生徒からも好評です。先生は様々な工夫により、オンライン授業の効果を高める工夫に取り組み、生徒も熱心に動画を見て、課題に積極的に取り組んでいて、オンラインでの学習効果を高めています。先生と各生徒はネットで直接コミュニケーションできるため、生徒からの質問も活発に出るなど対面の集合型授業にない

メリットもあります。また、Zoomによるホームルームを活用して、生徒がリレー形式でメッセージを繋ぐような企画をしたクラスもあります。生徒たちが笑顔でボタンをパスする姿には、離れていてもネットを通じて、つながっている仲間意識が感じられて、登校自粛による孤独感の解消にも役立っています。

また、同一学校法人である智香寺学園の運営する埼玉工業大学との高大連携においても、今回のオンライン授業を契機に学園間の連携を深めた教育を推進していく予定です。

●校長のコメント

本校では、平成29年度入学生から、全員にタブレット端末(iPad)を持たせ、授業をはじめとする教育活動に活用しています。校内のWi-Fi環境を段階的に整備し、昨年全ての工事が完了しました。今年度入学生をもって、在校生全員がiPadを所持する状況になったと同時に、新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業期間が始まりました。昨年までは、iPadの活用研修を頻繁に行い、授業への導入を進めてきましたが、実際には一部の教員による限定的な授業に限られていました。しかしながら、今回の非常事態により、遠隔授業が教育活動を停滞させない唯一の方策となったとき、これまでの研修や取り組みの成果が表れてきました。基本的な操作法やアプリの活用方法については、全ての教員の共通理解が図れたため、いざ一斉に遠隔授業への切り替えが必要な状況になったときも、全く抵抗感無くオンライン授業を進めていくことができました。ウイルスの感染が終息し、平常時に戻った際にも、今回の経験から身についたスキルは必ず生きてくるはずです。その結果として、遠隔授業の効率性と対面授業の効果を融合させたハイブリッドな授業が可能になると考えます。慣れない環境の中でも全教員が新たにチャレンジする経験は学校全体の財産になっていくはずです。

●遠隔授業に関して

正智深谷では、体育や芸術系科目などの実技教科と演習科目を除いて、ほぼ全ての科目を対象に、オンライン授業を行っています。各自が行なう家庭学習が中心のオンライン授業ですが、本校では登校時と変わらない同時双方向性を出すために、Zoomを使用してホームルームを毎日行い、効率的に授業を進めながら、課題提出を課すロイロノートを併用しています。その結果として、オンタイムで生徒の様子を観察できると共に、授業進度をしっかりと確保ができる状態になっています。

このたび、緊急事態宣言が解除になり、6月1日から授業を再開しました。分散登校の実施により、これまで実施できなかった実技系科目の授業を行い、オンライン授業を実施してきた科目については、引き続きオンラインでの授業配信を続けています。感染拡大が再度進行した際には、速やかにオンライン授業のみの教育に切り替える準備も進めています。本校は危機に備えて、予測困難な状況に対しても複数の選択肢を準備して、教育を止めないように取り組んでいます。

●正智深谷高校について

本校では、平成28年度から正智深谷高等学校イノベーション計画(Shochi-Fukaya High school Innovation Plan)を掲げ、この計画を「SHIP(帆船)」と名付けて、教育改革に取り組んできました。建学の精神とする仏教の教えをベースに、社会から求められる学力の変化に合わせた教育活動を行なっています。ICTの活用とグローバル教育をその柱とし、今後も感染が拡大する可能性のある未知のウイルスとの闘い対しも覚悟を持って全教職員一丸で取り組んでいきます。

●関連情報

- ・正智深谷高校の感染防止に関するお知らせ：<https://shochi.jp/news/covid19/>
- ・本学校長ブログ：<https://shochi.jp/news/principal/>
- ・埼玉工業大学 HP：<https://www.sit.ac.jp/>
- ・プレスリリース：埼玉工業大学のオンライン授業の実施
https://www.sit.ac.jp/media-s/2020/press/200525_01.pdf

<お問い合わせ>

正智深谷高校 担当：世佐木佳紀(教頭)

〒366-0801 埼玉県深谷市上野台 369 番地

TEL：048-571-1065

E-mail：sesaki-y@shochi.jp